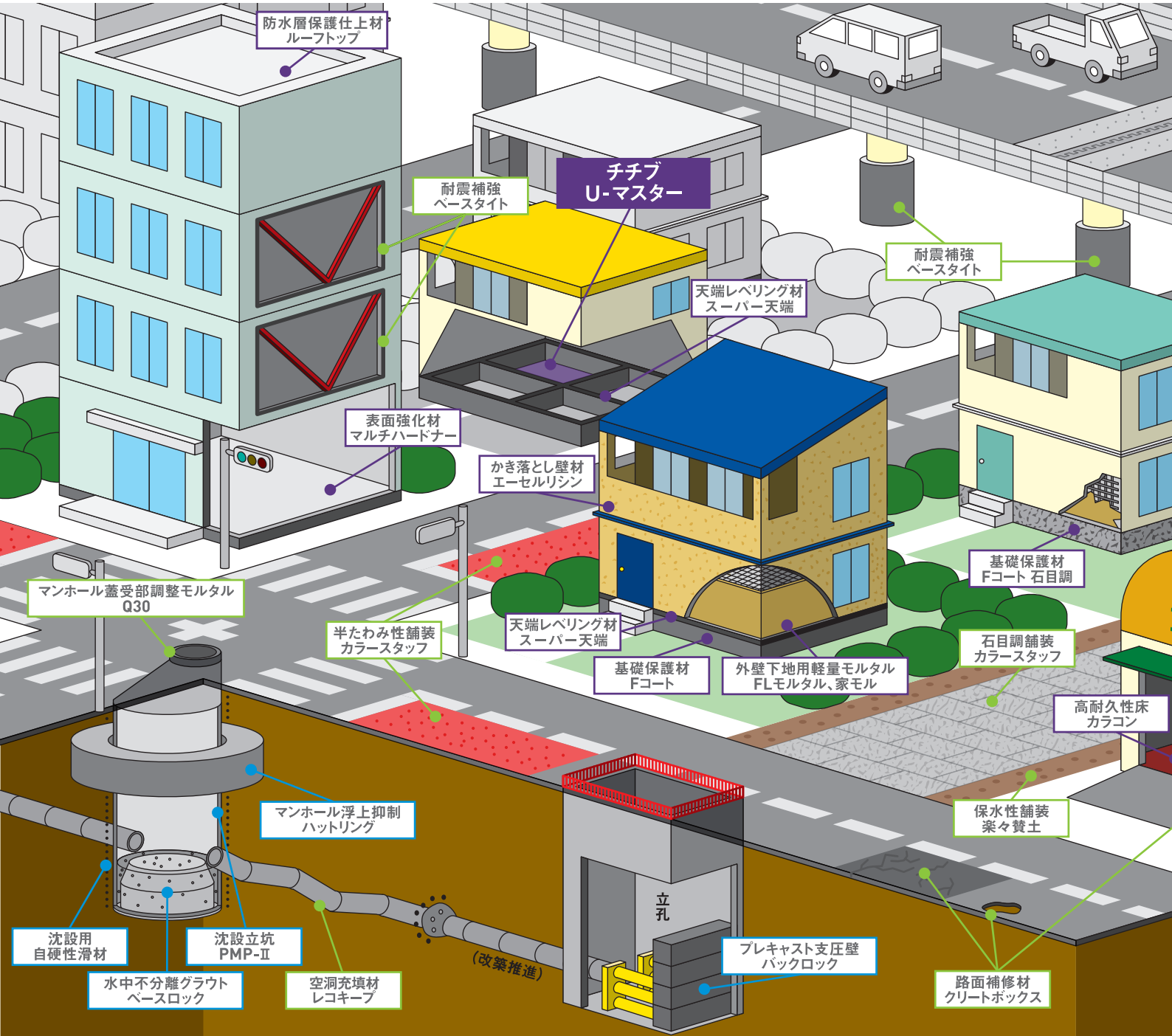


基礎コンクリート打継ぎ部の性能を簡単に改良する処理剤

基礎用

# チチブ U-マスター



# チチブ U-マスター

コンクリート構造物において性能上の弱点となり易い部分のひとつにコンクリート打継ぎ部があります。

打継ぎ部の不良はコールドジョイントとも呼ばれ、水分や二酸化炭素等の侵入を容易にし耐久性や防水性上の問題となります。打継ぎ部の一体性を確保するため、一般的には旧コンクリート表面の不純物の層(レイタンス)を除去するグリーンカット等の作業が行われております。

「U-マスター」は、超微粒子樹脂を主成分としたコンクリートの打継ぎ面改良剤で、打設時に散布するだけで打継ぎ面の性能低下を抑制します。

## 用途

住宅基礎等のコンクリート打継ぎ部分の改良

住宅基礎等の  
一体打ち時のコールド  
ジョイントの改良  
(暑中コンクリート)

布基礎のコンクリートと  
天端材の  
接着補強プライマー

## U-マスター3つの特長

□ 簡単!

コンクリートに  
散布するだけ。

◎コンクリート打継ぎ面に散布するだけで、超微粒子樹脂がコンクリート中に浸透し固化して打継ぎ面を改良します。

□ 好評!

簡単処理が  
可能に。

◎打継ぎ面の処理が簡単で、作業の熟練が不要です。レイタンス処理等による副産物が発生しません。

□ 安心!

鉄筋に付着しても  
問題なし。

◎鉄筋に付着しても、コンクリートとの付着性を阻害しません。

## 性状・荷姿と施工面積

### 性状

項目	規格
外観(25℃、原液)	乳白色液体
pH(25℃、原液)	7.0~9.0
粘度(25℃、原液)	4~100mPa・s
比重(25℃、原液)	1.03~1.07
乾燥固形分(%)	40.0±1.0

### 荷姿と施工面積 4kgポリ缶×4缶(段ボール箱入)

1㎡当りの標準使用量	250ml
1缶(4ℓ)当りの施工面積	16㎡
1缶(4ℓ)当りの施工長	約100m(基礎幅15cmの場合、ロス10%含む)

# 1 ブリーディング水の除去

旧コンクリートのブリーディング終了を見計らい、溜まったブリーディング水をスポンジ等により除去します。

# 2 U-マスターの散布

「U-マスター」の原液を1㎡当たり250ml以上の見当で、ジョウロやハケを使ってコンクリート表面に散布して下さい。



# 3 U-マスターの養生

「U-マスター」の標準養生時間は24時間以上ですがそれ以下でも効果があります。新コンクリートの打継ぎまでに「U-マスター」が雨水等により流出しないようシート等により養生して下さい。

# 4 新コンクリートの打設

新コンクリートの打設は、通常通りに行って下さい。暑中コンクリートでの基礎一体打ちでは、散布した「U-マスター」の乳白色が無くなった状態で、新コンクリートの打設を行って下さい。

## 施工上注意事項

- 旧コンクリート表面に「U-マスター」の膜が確認された場合はこれを除去し、「U-マスター」を再度その部分に散布して下さい。
- 凍結が予想される場合の施工は取りやめるか、凍結防止の保温措置等を行って下さい。
- 気温やコンクリートの配合によって、散布するタイミングが異なりますので注意して下さい。
- 立上りの型枠が設定されている場合は型枠に「U-マスター」が付着しないように、アクリル板等で養生して下さい。型枠に「U-マスター」が付着すると除去しにくくなります。

# 試験結果

## 性能 ① 打継ぎ部の付着強さ

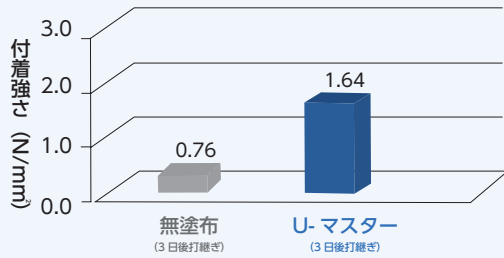
コンクリートを下記条件にて打継ぎ、各材齢でコアカッターを旧コンクリート途中まで入れ建研式付着試験を行った。

## 性能 ② 打継ぎ部の耐久性

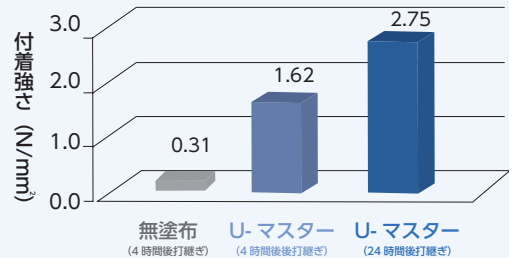
打継ぎ部の健全度(一体性)を評価するため、漏水試験および促進中性化試験(JIS A 1153に準じる)を行った。

### 性能 ①

#### 打継ぎ間隔 3 日 (試験材齢 7 日)



#### 打継ぎ間隔の影響 (試験材齢 14 日)



### 性能 ②

#### 漏水試験結果

付着試験終了後、供試体削孔部に水を張り3時間後に打継ぎ部の漏水の有無を確認した。



##### 無塗布

旧コンクリート打設後、表面処理無しで、3日後に新コンクリートを打継ぐ。

##### U-マスター

旧コンクリート打設後、U-マスターを散布して、3日後に新コンクリートを打継ぐ。

#### 中性化試験結果

打継ぎ部を破断しない状態で促進中性化試験を行った。(気温20℃、湿度60%、CO<sub>2</sub>濃度5%)



旧コンクリート打設後、表面処理無しで、4時間後に新コンクリートを打継ぐ。

旧コンクリート打設後、U-マスターを散布し、4時間後に新コンクリートを打継ぐ。

旧コンクリート打設後、U-マスターを散布し、24時間後に新コンクリートを打継ぐ。

・付着強さは試験値であり保証値ではありません。また、現場の条件により変化します。

#### ⚠️ 取扱い及び保管上の注意事項

本製品は、取り扱いが容易で安全性も高いものですが、下記の事項に注意して取り扱って下さい。

- ・取扱いは換気の良い場所で行い、目や皮膚への接触を防ぐため、保護メガネ、保護マスク、ゴム手袋等の保護具を着用して下さい。
- ・作業後は、手洗いがいをして下さい。
- ・万一、目に入ったり、長く皮膚に付着した場合は、清水で十分に洗い流し、必要に応じて専門医の診察を受けて下さい。
- ・本来の用途以外は使用しないで下さい。
- ・材料の保管は、0～40℃の範囲の屋内で行って下さい。
- ・ポリ容器は、中身を使い切ってから産業廃棄物として処理して下さい。
- ・詳細な内容が必要な場合は、安全データシート (SDS) をご参照下さい。

#### 販売店

 **秩父コンクリート工業株式会社**  
CHICHIBU CONCRETE INDUSTRY.CO.,LTD

本社 〒110-0005 東京都台東区上野7丁目7番6号 TEL:03-3844-5062  
工場 〒360-0825 埼玉県熊谷市月見町2丁目1番1号 TEL:048-521-2161  
<http://www.chichicon.co.jp>

その他資料も  
ご用意しています。

